

●主な取り組み

○団体利用者への対応

近隣の保育園や小学校を中心に、生きものの観察の場として、授業等に利用されている。インタープリターによる生きものの解説も行っている。

○展示による情報発信

ネイチャーセンター内の季節展示や、野外に設置した生きものの解説・観察ポイントのサイン等により、季節の自然情報を発信している。

○観察道具の貸し出し

観察を通して、生きものに親しみ、大切に思う気持ちを育むため、虫かご・虫捕り網・双眼鏡・虫めがね等、観察道具の貸し出しを行っている。

○みどりのお手伝い募集

時間のある時に気軽に立ち寄って、除草等の管理作業をするボランティア「みどりのお手伝い」を募集している。地域の方に、気軽に庭園管理に参加していただくことを目的としている。

●令和2年度の主な活動

1. 「日本のスミレ展」の実施

市民団体「すみれの集い」に協力いただき、「日本のスミレ展」を、3月末から4月上旬の7日間開催した。日本各地のスミレ類130鉢を中心に、スミレのポタニカルアートや写真等を展示した。また、スミレ苗200鉢を販売し、売上の一部を世田谷トラストまちづくりに寄付した。期間中には「すみれの集い」の講師による講座を実施し、22人の参加があった。今年度で14回目の開催となり、問合せやリピーターが増えている。

2. 保全管理作業の実施

毎月第二土曜日を定例の保全管理作業日とし、世田谷すみればネットのメンバーとともに草刈や剪定、池の整備などの作業を行っている。また、庭園の草地に生えるスミレ類の分布数・場所を調べる「スミレ分布調査」を毎年行い、スミレの分布の様子を把握するよう努めている。

3. 「生きものの観察会」の実施

インタープリターが、毎月の保全管理作業日に、毎回30分程度、庭園内の生きものについて解説する「生きもの観察会」を行っている。世田谷すみればネットのメンバーが庭園の自然を知り、来園者に対してインタープリテーションができるように、また、一般来園者も身近な自然に親しめるように、ということを目指して、平成25年度より実施している。



ネイチャーセンター内の展示物



「日本のスミレ展」の様子



スミレ分布調査の様子



「生きもの観察会」の様子